

問題1 次の漆芸に関する用語について、漢字には読み仮名を、平仮名には漢字を、英字にはカタカナを ()内に記入し40文字以上で説明しなさい。

(1)するがずみ ()

(2)赤漆文欄木厨子 ()

(3)しっぴ ()

(4)絞漆 ()

(5)ちゅうそんじこんじきどうないじん ()

受験番号

(6)中次 ()

(7)きんぎんでんそう(の)からたち ()

(8)剔紅 ()

(9)そく ()

(10)JOHN STALKER & GEORGE PARKER ()

受験番号

(11)みつだえ

()

(12)時雨螺細鞍

()

(13)かちょうまきえねんじゅばこ

()

(14)小川松民

()

(15)こうだいじまきえ

()

受験番号

(16) きじびきろくろ ()

(17) 南蛮漆器 ()

(18) もんしゃぬり ()

(19) 玳瑁 ()

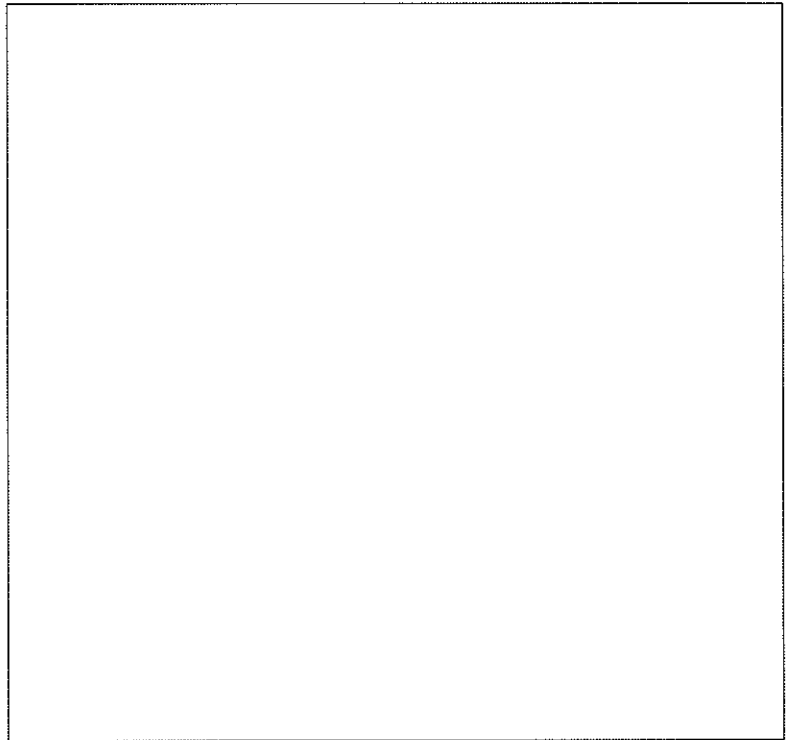
(20) うめまきえてばこ ()

受験番号

問題2

次に説明する箱の構造を断面図で描きなさい。

- ・甲盛りと畳擦りと塵居のある
印籠蓋造りで、懸子を有する箱。



問題3

うるし液の採取方法について、150文字前後で説明しなさい。

受験番号

問題4 別紙写真(A)(B)の名称を()に、時代を〔 〕に記入し60文字以上で説明しなさい。

記号 (A) 名称 () [時代]

記号 (B) 名称 () [時代]

問題4

(A)

【図版】
尾形光琳
住之江蒔絵硯箱（江戸時代）

【出典】
光琳社出版株式会社刊
琳派工芸撰集 下
図版 P52

(B)

【図版】
漆塗り杓子柄（縄文時代）

【出典】
縄文時代の漆技術
- 東京都東村山市「下宅部遺跡」を中心として
東村山ふるさと歴史館 千葉敏朗著
プリント資料

問題5

(C)

【図版】

山崎覚太郎

猿蒔絵風爐前屏風 (昭和14年)

【出典】

東京芸術大学 125 周年記念事業

漆芸 軌跡と未来実行委員会発行 図録 P9

(D)

【図版】

高野松山

静動文庫 (昭和6年)

【出典】

東京芸術大学 125 周年記念事業

漆芸 軌跡と未来実行委員会発行 図録 P6

(E)

【図版】

佐治賢使

蝙蝠蒔絵八角飾箱

(昭和19年)

【出典】

東京芸術大学 125 周年記念事業

漆芸 軌跡と未来実行委員会発行 図録 P10

平成 25 年度 東京藝術大学大学院美術研究科 (修士課程・第Ⅱ期)
入学者選抜試験 (漆芸・実技試験)

試験日 平成 25 年 2 月 13 日 (水) 13:00~17:00

受験番号

問題 与えられたモチーフ「真鯛」を漆塗り丸皿に構成し、表現しなさい。

- 条件
- ・金箔は必ず使用する事
 - ・モチーフを加工しない事
 - ・用意された用具と材料、下記に記した持参用具以外は使用しないこと
【持参用具】筆記用具、蒔絵筆各種 3 本、溜刷毛 (大、小)、篋 (大、小)

※試験終了後に各自使用した用具及び材料を片付けなさい。